

# 『忍者』を起爆剤とした地域の公共交通利用促進・活性化

資-土木1

交通戦略課  
内線3680

JR草津線

全線開通125年を迎えた、滋賀県草津市と三重県伊賀市を結ぶ延長36.7kmの鉄道路線

予算額【50,000千円】

## 現状

- ✓沿線地域は産業集積、宅地造成等が進むが、人口減少による公共交通の利用減が視野に
- ✓地元自治体は、さらなる地元利用促進や、企業誘致、駅周辺の開発などを推進しているところ
- ✓沿線には「忍者」、「歴史の舞台」、「自然」、「体験」など、魅力的なコンテンツが集積

草津線のダイヤ改善、利便性向上、沿線地域活性化へつなげるため、『交流人口の増加』により、利用者を増やす取組を加速させる必要

そのために

- 「忍者」を起爆剤に、集客のきっかけをつくる。
- 沿線地域の魅力を磨くとともに、駅を中心とした案内機能、アクセス環境等を強化。
- 国内外への情報発信強化。
- 草津線沿線自治体が一体的に取組を推進

具体的な取組

### ラッピング列車運行

【事業】  
『忍者』をキーワードに、ラッピング列車運行による誘客を検討・実施。

### 情報発信強化

【事業】  
県内外向けに沿線の魅力動画制作 etc

### ツアー造成促進

【事業】  
JR草津線を活用した旅行商品造成促進 etc

### 受入環境整備

【事業】  
駅を中心とする案内機能やアクセス環境強化、魅力向上の整備 etc

### 訪日客へ発信強化

【事業】  
海外向けメディアを活用し、関西空港着の訪日客への発信



# 近江に根ざして120年・「近江鉄道」沿線魅力再発見・創出事業

資-土木2

交通戦略課  
内線3680

本県最古の私鉄として地元住民に愛されてきた近江鉄道は2016年に120周年を迎える。これを契機に、県および沿線市町と住民、そして近江鉄道が連携して「近江鉄道」とその沿線市町の魅力を再発見するとともに、新たな観光資源を発掘・創出する。

予算額【4,000千円】

## 近江鉄道魅力再発見事業

- ・赤電塗装電車運行
- ・懐かしの鉄道展示
- ・120周年記念乗車券など



## 近江鉄道とその沿線市町 魅力発信事業

- ・松本忠氏 鉄道風景画展示ギャラリートレイン
- ・がちゃこんまつり
- ・ラッピングバス運行
- ・記念フリーきっぷの販売
- ・沿線市町観光キャンペーンとの連携



## 新たな魅力創出事業

- ・近江鉄道の既存イベントを素材としたインバウンド向け商品の造成
- ・海外旅行博でのPR
- ・外国人観光客用車両の運行
- ・外国語対応表記の研究



近江鉄道の利用促進

沿線地域の活性化

# 「ビワイチ」サイクルツーリズムの促進

【予算額 73,600千円】

資一土木3

交通戦略課  
内線3680

道路課  
内線4134

米原駅サイクルステーション設置をはじめ、びわ湖一周「ビワイチ」、「公共交通＋スポーツ自転車＋観光」を楽しめるレンタサイクルネットワーク検討、路面標示による案内機能強化、湖上交通ツアーづくりを促進。

## 広域レンタサイクル整備・ガイドの充実

### ○米原駅サイクルステーションの整備



ステーションイメージ

H27社会実験の写真

### ○「ビワイチ」レンタサイクル拠点の設置検討・実施

### ○サイクルツアーガイドの育成

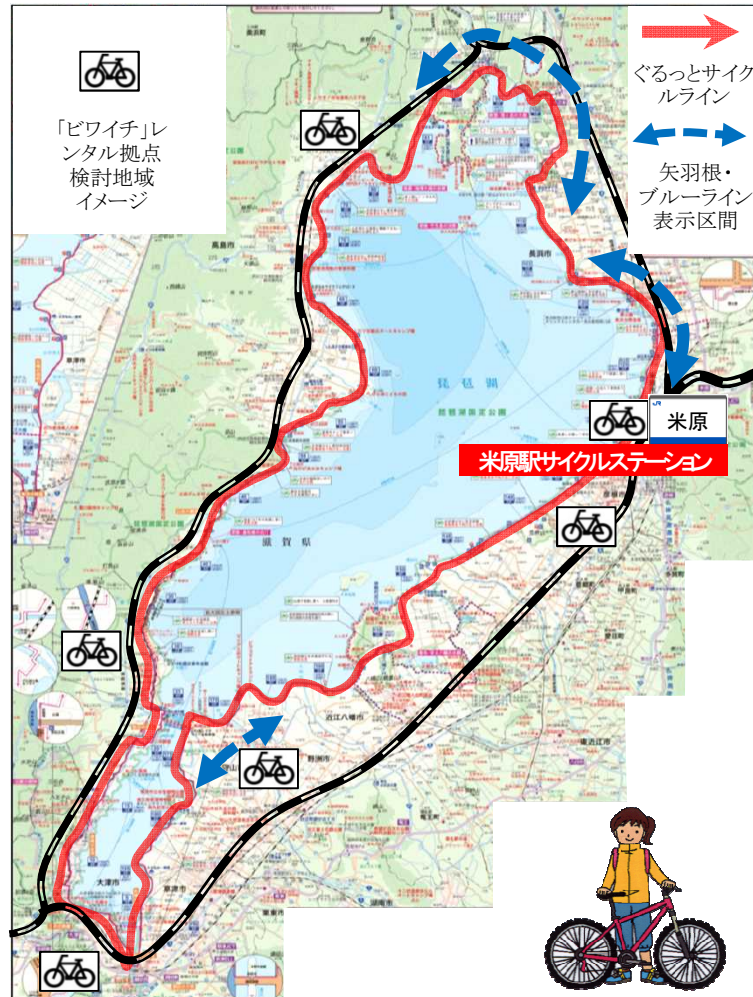


NPO法人 五環生活HPより引用

### ○サイクリングマップの多言語化

+

地域マップとの連携発信



## 路面標示の充実による案内機能強化

### ○矢羽根・ブルーラインによるルート案内整備



## 湖上交通等を活用した周遊環境構築

### ○自転車搭載船の運行

### ○旅行会社等の招請によるツアー造成促進

